

## 2009年度Vol.4特集「研究授業を活性化させる！」へのご意見

このコーナーでは、編集部寄せられた読者の先生方からのご意見をご紹介します。前号の特集「研究授業を活性化させる！」に関しては、事例校の研究授業の方法や、自校の取り組みについて、さまざまな角度からご意見をいただきました。

\*「VIEW21」中学版のバックナンバーは「Benesse教育研究開発センター」ウェブサイト (<http://benesse.jp/berd/>) でご覧いただけます。

◎丸亀市立飯山中学校の取り組みの中でも、「授業案も事後研究会も不要」というキーワードが目にとまりました。本校も一人一公開授業を行っており、参観は10分間だけでも可、コメントも不要としていますが、出張が入ったり、空き時間の教師がいなかったりで、校長と教頭しか参観者がいないことも多いのが実情です。また、公開授業が年度末に集中してしまうという問題もあります。計画的に進める難しさを感じていたので、特に興味を持って読みました。[長野県/U中学校/S・K]

◎岡山市立福浜中学校の3つの研究グループに分ける際の発想がとても良いと思いました。本校でも、ぜひ取り入れたいと思います。[千葉県/H中学校/K・Y]

◎研究授業を簡素化して、定着・常態化することばかりを考えていましたが、山形市立高楯中学校の実践は、研究授業を積極的に推進する方法として、大いに参考になりました。[三重県/H中学校/F・T]

◎中学校では教科担当で研究協議を進めることが多いと思いますが、教科担当が少ない学校は、全校で取り組むのが困難です。岡山市立福浜中学校の実践で、理数の教科グループで研究協議できるようにしていることが参考になりました。

[滋賀県/T中学校/Y・H]

◎公開授業の指導案や事後研修をどういう形にするか。丸亀市立飯山中学校の実践は興味深く読みました。月1回の部活動休養日も賛成です。

[奈良県/M中学校/F・Y]

◎山形市立高楯中学校のペアワークで意見を出しやすくする、情報共有する、付せん紙を貼って事前研究会を開くなどの取り組みは、具体的に参考になる工夫でした。「読み直したくなる研究紀要」も大事な視点だと納得しました。[福岡県/T中学校/K・T]

◎本校では学期に1回の自由参観週間を設定し、空き時間で授業参観し、それを受けての研修会を実施しています。学期ごとにテーマ設定をし、協議しやすくしています。どの事例も参考になりました。

[山口県/K中学校/S・R]

◎ハードルを下げ、指導案なしで行う研究授業は、入り口としてはしかたないが、やはり指導案を書く力を全員で共有する必要があると思います。

[福島県/M中学校/K・T]

◎教師の集団としての力量を上げる手法はよいと思いますが、グループ編成がなじまない教師もいます。そこ

にどう手を入れていくか考えさせられました。

[鹿児島県/S中学校/S・M]

2010年度「VIEW21」中学版  
読者モニター募集

「VIEW21」編集部では、誌面評価や企画へのアドバイスにご協力いただける「読者モニター」の先生方を募集しております。1年間で5～6回程度のアンケートへのご回答と、企画に関するヒアリングなどをご依頼いたします。詳しくは今号と同送している「読者モニター募集のご案内」をご覧ください。

## 編集後記

学力下位層の生徒をどのように学びに向かわせるのか？ 今号の取材を通して強く感じたのは、どの先生もまず「クラス、学校全体を『学びに向かう集団』に育てていく」という部分から取り組みを考えておられたことです。「自分のため」だけに学ぶのではなく、「仲間とともに学ぶ」ことの意味をどう考えるのか。人間関係の希薄化が指摘される今だからこそ、学校という場の意味を問い直さなければならないのかもしれない。(渡邊)

VIEW21 中学版 2010 Vol.1

2010年6月1日発行/通巻第305号

発行人 新井健一  
 編集人 原 茂  
 発行所 (株)ベネッセコーポレーション  
 Benesse教育研究開発センター  
 印刷製本 大日本印刷(株)  
 編集協力 (有)ペンダコ  
 執筆協力 柴崎朋実、長谷川 敦、中丸 満  
 撮影協力 荒川 潤、川上一生  
 イラスト協力 幸 剛

## ◎お問い合わせ先

VIEW21編集部  
 電話 **03-5371-1238**  
 〒163-1422 東京都新宿区西新宿3-20-2  
 東京オペラシティタワー 22階

©Benesse Corporation 2010